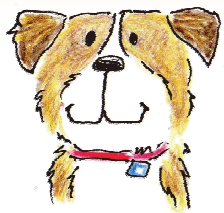


愛犬の鳴き声、近所迷惑になっていませんか?!



犬は動物の中で最も変化のある音声を発します。住宅地では嫌がられるのは当然です。犬の無駄吠えの理由を理解し、対策を考えてください。鳴き声対策は、時間をかけて根気強く続ける必要があります。まず、次のことに配慮してください。

● しつけはしっかりと

しつけは犬が人間社会で幸せに生きていくための基礎教育であり、信頼関係の元になります。飼い主の指示をきちんと理解する犬にしつけましょう!

● 規則正しく食事を与えましょう

● 犬の朝晩の散歩は規則正しく

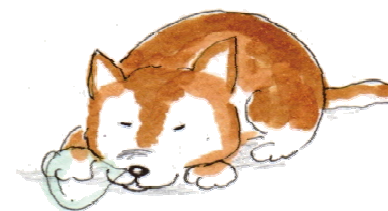
犬の吠えすぎは運動不足にも原因があります。十分な運動でエネルギーの発散をしてあげましょう。

● 隠れた病気がないか確認を

病気のせいで吠える場合もあります。原因がわからない場合は動物病院に相談を!

● 犬小屋の位置にも配慮を

外飼いの場合は迷惑にならない場所に犬を移し、近所の方の理解を得ましょう。室内飼育も検討しましょう!



★ 無駄吠えは、犬にとって『無駄』ではありません。

あなたの犬は、どんなときに吠えますか？

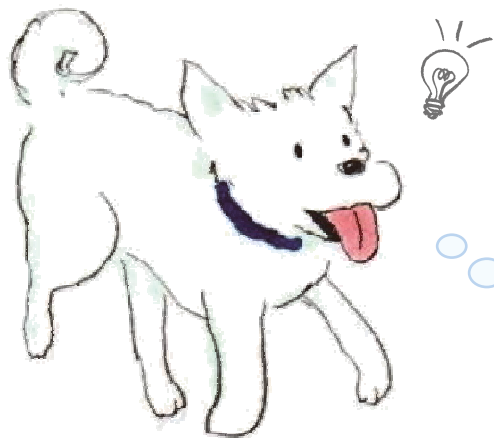
吠えたとき、吠えた後、犬にとって『良いこと』がありましたか？

〈例えば…〉

- ① 吠えたら → ご飯やおやつが貰えた
- ② 吠えたら → イヤな人が、知らない人が居なくなった
- ③ 吠えたら → 「静かにしろ～」と飼い主が声をかけてくれた



犬の頭の中では…



- ① 吠えれば、**ご飯やおやつが貰えるぞ、もっと、吠えよう！**
- ② 吠えれば、**知らない人が居なくなるぞ、安心だ**
(ただ、道を通っているだけの通行人)
- ③ **「わ～い」、吠えたら、飼い主さんがかまってくれた**
(叱られたのに、かまって貰えた勘違い)

じっくり観察、吠える理由を見つけて対策を立てましょう！良くない、理由が分からない時は、専門家(かかりつけの動物病院等)に相談することも大切です。